

科学研究費補助金 基盤研究 (B)

「無核性カンキツの探索とその起源に関する研究」2007-2009

「海のカンキツロードの解明」2012-2015

「カンキツの分類と種の起源・伝播の解明-田中標本の解析と人文・社会的調査-」2016-2018

「カンキツの起源と分類の再構築-田中長三郎のさく葉標本と研究ノートの解析-」2020-2022

公開シンポジウム

日本の柑橘はどこから来たのか？ —海のカンキツロード—

世界には多様なカンキツが存在しており、日本にも多くの種類のカンキツがあります。カンキツの起源地はインド東北部のアッサム地域から中国雲南省にかけてと考えられており、日本では万葉の時代から「橘」が詠まれ、古くから日本人に親しまれています。

このような日本のカンキツはどこから来たのだろうか？

第1部では東アジアと日本の在来カンキツの多様性や遺伝子解析など、カンキツ研究者らの共同研究による最新の成果について講演が行われ、日本のカンキツの起源を考えます。

第2部では日本のカンキツの歴史と文化について、カンキツの分野横断型共同研究をもとに、人文学や社会学の研究者などによる伝承や古典文学、近世および現代のカンキツにまつわる講演が行われます。

<プログラム>

9:15 開場

9:30 開会挨拶 研究代表者 北島 宣(京都先端科学大学)

9:35 第1部 東アジアと日本の在来カンキツ

「カンキツの多様性と東アジアの在来カンキツ」

北島 宣(京都先端科学大学)

「東アジア在来カンキツの葉緑体DNA解析」

中野道治(高知大学)

「貴重な遺伝資源、南西諸島の在来カンキツ」

山本雅史(鹿児島大学)

11:30~12:30 昼食

12:30 第1部再開

「ゲノムと文献からたどる日本国内へのカンキツ導入と多様化のプロセス」

清水徳朗(前農研機構果樹研究所)

「柑橘研究を端緒とした地方創生のトライアル

—田中長三郎研究から始まる社会実装の試み—

伊藤 謙(大阪大学)

「田中長三郎のカンキツ資料の解析」

中村彰宏(大阪公立大学)

14:15~14:30 休憩

14:30 第2部 日本のカンキツの歴史と文化

「トキジクノカグノコノミと橘、柑子、柚子」

北島 宣(京都先端科学大学)

「ゲノム情報から見る日本におけるユズの多様性」

西村和紗(京都大学)

「フランス、オランダにおける四国のゆずの輸入と活用、および展開について」

深尾葉子(大阪大学)

「江戸時代の料理書『柚珍秘密箱』に見る柑橘の用途とその特徴について」

田中圭子(佐賀大学)

「花橘の文化—和歌データベースのテキストマイニングを通して—」

福田智子(同志社大学)

16:30~16:45 質疑応答・討論

16:45 閉会

科研費
KAKENHI

KUAS
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE
京都先端科学大学

開催方法:ハイブリッド

(①対面会場と②Zoom Meetingによるオンライン会場を併用します)

参加費:無料

事前申込:要

※3月21日(火)までにお申込みください。

参加・申込方法:

【①対面会場】

開催場所:

京都先端科学大学太秦キャンパス

みらいホール

京都市右京区山之内五反田町18

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

申込方法: 次のURL又はQRコードからお申込み下さい。

<https://forms.gle/u1tjC5Cxuq32r7Vb8>



対面会場受付担当:

kitajima.akira@kuas.ac.jp(北島)

【②オンライン会場】

次のURL,又はQRコードからお申込みください。開催終了時刻までお申込みいただけます。

<https://onl.sc/BzKpZVb>



※定員100名。定員に達し次第、申し込みを打ち切らせていただきます。

※申込時に入力したメールアドレス宛に、Zoom参加用のリンクやID、パスコードが自動で返送されます。

返送されない場合がありましたら、下記の受付担当係までご連絡ください。

オンライン会場受付担当:

misima17@hiroshima-u.ac.jp(田中)

2023年
3月26日(日)
朝9:30開始
京都先端科学大学
太秦キャンパス
みらいホール
&
ZOOM